

書籍「海のレジャー的利用と管理 日本と中国の実践」 刊行のお知らせ

婁小波・中原尚知・原田幸子・高翔 編著



定価：本体 2,800 円（税抜）
発行：東海教育研究所
ISBN：978-4-924523-43-2 C3031

公益財団法人笹川平和財団（東京都港区 理事長・角南篤）の海洋政策研究所は、2024年3月31日、書籍「海のレジャー的利用と管理 日本と中国の実践」を刊行致しました。

休みの日に、ゆったりと糸を垂らし旬の魚でも釣ってみたい、コバルトブルーの海を潜って美しいサンゴを覗いてみたい、大海原を思いっきりセーリングしてみたい…。豊かになればなるほど、海を楽しみたいというニーズは高まり、その結果、海洋レジャー産業は発達します。1980年代以降の日本や、2000年代以降の中国がそうでした。しかし、海洋レジャーの勃興や多様化のもたらす効果や影響には、ほとんど注意が払われてきませんでした。果たして、日中両国において海のレジャー的利用はどのような形で存在し、どのように展開してきたのか、それによってどんな問題が惹起され、どのように解決が試みられてきたのでしょうか。本書では、日中両国の研究者の協力を得て実施した「日本・中国におけるレジャー漁業に関する調査研究」の成果の一部を取りまとめ、そうした課題に挑みました。漁業や漁村の持続可能な成長を求めて、中国では2000年代に入ってから「休閒漁業（レジャー漁業）」を推進し、

日本では2022年から「海業（うみぎょう）」の振興が水産基本政策の柱の一つとして打ち出されています。本書ではそうした政策的背景も踏まえつつ、多様化する海のレジャー的利用をめぐる日中両国での実践的な取り組みを分析しています。海洋や漁業への理解を深めたい方には、ぜひお近くの書店またはオンラインにて入手し、一読をお勧めします。

<目次>

まえがき	第9章 海洋レジャーをめぐる調整と環境管理 —沖縄県座間味村の取り組みを事例として—
第I部 日本における海のレジャー的利用と管理	第II部 中国における海のレジャー的利用と管理
第1章 日本人の余暇生活と海のレジャー的利用の展開	第10章 中国経済の構造転換と海のレジャー的利用の展開
第2章 海のレジャー的利用とコンフリクトの調整	第11章 中国レジャー漁業研究の展開とレジャー漁業を取り巻く環境
第3章 遊漁船業の展開と利用調整	第12章 上海市レジャー漁業の現状と金山嘴漁村の構造転換問題
第4章 沿岸域におけるプレジャーボート・マリーナの利用と管理	第13章 浙江省におけるレジャー漁業への転換とマネジメント
第5章 海洋文化を活用した海洋レジャーの展開と管理 —帆掛けサバを事例として—	第14章 山東省におけるレジャー漁業発展の現状と特色
第6章 小規模漁業者による海業への取り組みと共同体バイアビリティ —静岡県伊豆半島「稲取漁港稲荷丸漁船観光クルーズ」の挑戦—	第15章 海南島におけるレジャー漁業政策の展開過程
第7章 渚泊の政策的展開とビジネスモデル —ブルーバーク阿納を事例として—	第16章 海南島レジャー漁業の実践と発展のポテンシャル
第8章 魚食レストランの政策的展開と課題 —静岡県初島と沼津市を事例として—	第17章 中国民宿業の展開と漁家民宿「漁家楽」の可能性
	終章 日中における海のレジャー的利用の特徴と課題

【海洋政策研究所について】

Think, Do, and Innovate Tank として、海洋にまつわる諸問題の俯瞰的視座からの把握、自然科学 社会科学 人文科学を統合した科学的アプローチによる問題の分析、国際社会において政策決定者が参考としうる実現可能な政策としての提案、そして、政策実現に向けた環境整備の実行—将来の世代に健全な状態で海洋を引き継ぐために、政策研究の手法をもって、海洋に関するさまざまな問題解決に貢献し、「海洋を通じた平和の実現」を目指します。

【取材についてお問い合わせ】

公益財団法人笹川平和財団コミュニケーション企画部広報課 TEL：03-5157-5389 Email：spfpr@spf.or.jp

Recreational Use and Management of the Sea : Practices in Japan and China

海域的休閒利用与管理：中日案例分析

海のレジャー的利用と管理

【日本と中国の実践】

婁小波・中原尚知・原田幸子・高翔 編著

ISBN978-4-924523-43-2 C3031 Y2800E

定価(本体2800円+税) A5判、348頁、上製

海を楽しむ、海を守る

新しい海洋経済の持続可能な成長を目指して

まえがき

第1部 日本における海のレジャー的利用と管理

- 第1章 日本人の余暇生活と海のレジャー的利用の展開
第2章 海のレジャー的利用とコンフリクトの調整
第3章 遊漁船業の展開と利用調整
第4章 沿岸域におけるプレジャーボート・マリナーの利用と管理
第5章 海洋文化を活用した海洋レジャーの展開と管理
—帆掛けサバニを事例として—
第6章 小規模漁業者による海業への取り組みと共同体バイアリティ
—静岡県伊豆半島「稲取漁港稲荷丸漁船観光クルーズ」の挑戦—
第7章 渚泊の政策的展開とビジネスモデル
—ブルーパーク阿納を事例として—

- 第8章 魚食レストランの政策的展開と課題
—静岡県初島と沼津市を事例として—
第9章 海洋レジャーをめぐる調整と環境管理
—沖縄県座間味村の取り組みを事例として—

第2部 中国における海のレジャー的利用と管理

- 第10章 中国経済の構造転換と海のレジャー的利用の展開
第11章 中国レジャー漁業研究の展開とレジャー漁業を取り巻く環境
第12章 上海市レジャー漁業の現状と金山嘴漁村の構造転換問題
第13章 浙江省におけるレジャー漁業への転換とマネジメント
第14章 山東省におけるレジャー漁業発展の現状と特色
第15章 海南島におけるレジャー漁業政策の展開過程
第16章 海南島レジャー漁業の実践と発展のポテンシャル
第17章 中国民宿業の展開と漁家民宿「漁家楽」の可能性
終章 日中における海のレジャー的利用の特徴と課題

編著者

婁小波 (Xiaobo Lou)
東京海洋大学副学長・教授、国際漁業学会会長、農学博士
中原尚知 (Naotomo Nakahara)
東京海洋大学学術研究院教授、博士(水産学)
原田幸子 (Sachiko Harada)
東京海洋大学学術研究院准教授、博士(海洋科学)
高翔 (Xiang Gao)
笹川平和財団海洋政策研究所主任研究員、博士(国際公共政策)

執筆著者(執筆順)

日高健 (Takeshi Hidaka)
近畿大学産業理工学部部長・教授、博士(水産学)
竹ノ内徳人 (Naruhito Takenouchi)
愛媛大学南予水産研究センター教授、博士(水産学)
千足耕一 (Koichi Chiashi)
東京海洋大学教授、博士(医学)
蓬郷尚代 (Hisayo Tomago)
中央大学法学部准教授、博士(海洋科学)
李銀姫 (Yinji Li)
東海大学海洋学部准教授、博士(海洋科学)
浪川珠乃 (Tamano Namikawa)

東京海洋大学学術研究院教授、博士(海洋科学)
蘭亦青 (Yiqing Lan)
東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士後期課程
包特力根白乙 (Eigenray Bao)
大連海洋大学名誉教授、水産学博士
余丹陽 (Danyang Yu)
東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士後期課程
寧波 (Bo Ning)
上海海洋大学档案館館長
李欣 (Xin Li)
上海海洋大学経済管理学院准教授、博士(海洋科学)
趙奇蕾 (Qilei Zhao)
厦門大学助理研究員、近海海洋環境科学国家重点ラボ
優れたポストドク研究員、博士(漁業資源)
殷文偉 (Wenwei Yin)
浙江海洋大学教授、浙江海洋大学浙江舟山群岛新区研究
センター常務副主任、博士(管理科学とエンジニアリング)
江春禧 (Chunxi Jiang)
中国科学院海洋研究所博士後期課程
楊紅生 (Hongsheng Yang)
中国科学院海洋牧場工程ラボ主任・研究員、博士(水産養殖)

ご注文書

お申し込みは下記注文書に必要事項をご記入のうえ、お近くの書店にお持ちください。お急ぎの際は、直送もいたします。電話・E-mail・FAXで直接ご注文書を小会宛にお送りください。送料はご購入金額の合計が1万円以下の場合、一律400円いただきます。

ISBN978-4-924523-43-2 C3031 Y2800E
海のレジャー的利用と管理
(冊)

お名前:	_____年 月 日
郵便番号:	_____
ご住所:	_____
TEL:	_____ FAX:
ご購入は:	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 公費(請求書の宛名)
必要書類:	<input type="checkbox"/> 見積書 <input type="checkbox"/> 納品書 <input type="checkbox"/> 請求書
小会図書目録を:	<input type="checkbox"/> 希望する

東海教育研究所

お問い合わせ 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-9-5 新宿御苑さくらビル4階 Tel 03-6380-0490 Fax 03-6380-0499 <http://www.tokaiedu.co.jp/bosei/>